



2025年3月6日

国立大学法人大阪教育大学と国立大学法人筑波技術大学との 連携協定の締結について

国立大学法人大阪教育大学と国立大学法人筑波技術大学は、令和7年3月5日（水）に包括連携協定を締結いたしました。

この協定は、両大学の強みを生かし、障がい学生支援や、教育・研究の推進、ダイバーシティ及びインクルージョンの推進を進めていくものです。

■ 連携協力事項

- (1) 教育及び研究に関すること
- (2) 障がい学生支援に関すること
- (3) 学生の交流に関すること
- (4) FD・SDの実施に関すること
- (5) ダイバーシティ及びインクルージョンに関すること
- (6) その他両者が必要と認める事項に関すること

■ 施行日

令和7年4月1日から



■ 学長コメント（協定に期待すること）

大阪教育大学 岡本 幾子 学長

大阪教育大学は「我が国の先導的な教員養成大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命とする」を基本理念としています。

現在、文部科学大臣より教員養成フラッグシップ大学に指定され「ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成」をテーマに掲げて開発した教職プログラムの全国展開を進めています。

筑波技術大学との包括連携協定締結により、両大学の特色や強みを生かして共通理解と連携を深め、シナジーを創出してまいります。



筑波技術大学 石原 保志 学長

今回の連携協定締結において、様々な連携協力事項を検討していますが、その中で「学生」に着目して考えてみます。

筑波技術大学の学生は、健常の学生との交流を通じて、大阪教育大学の学生は、障害を持つ学生との交流を通じて、それぞれ若い世代のうちに、障害が社会の中のバリアとして存在していることを知り、その上で、いかに社会に働きかけ、いかに社会を変えていくか、考えていくきっかけとなってほしいと思います。

筑波技術大学は、我が国で唯一の障害者のための大学です。本学が有する障害学生支援に関するノウハウを最大限に活用し、大阪教育大学との連携を進めてまいります。



■ 大阪教育大学について

1874年（明治7年）5月に設置された教員伝習所を起源とし、150年に渡る歴史と伝統を有する我が国有数の教育大学。心理学系から芸術系まで幅広い分野を擁し、自然豊かな柏原キャンパスと、アクセス抜群で都市型な天王寺キャンパスの2つのキャンパスで学びを展開している。さらに、幼・小・中・高・特支合わせて11の附属学校園を設置している。令和4年3月には、文部科学大臣から教員養成フラッグシップ大学の指定を受け、ダイバーシティ、教育DXの推進、学習観・授業観の転換といった、教員養成の高度化に全学を挙げて取り組み、多様な教育課題の縮図ともいえる大阪から、「令和の日本型学校教育」をけん引する。

■ 筑波技術大学について

我が国で唯一の障害者のための大学。「障害者高等教育の拠点」として、聴覚障害、視覚障害を中心に、個々人の障害特性に即した教育、支援を行う。職業分野で能力を発揮できる障害者を輩出することでDE&I環境を醸成し、ひいてはWell Beingな社会の実現に貢献。障害学生支援のノウハウを他大学に提供し、企業、各種機関と連携して誰もが情報にアクセスしコミュニケーションを可能とする研究にも重点を置いている。

【問い合わせ先】

（協定の内容について）

・大阪教育大学学術連携課社会連携係

TEL:072-978-3253

E-mail:renkei@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

・筑波技術大学大学戦略課企画戦略係

TEL:029-858-9310

E-mail:kikaku@ad.tsukuba-tech.ac.jp

（取材の申込について）

・大阪教育大学広報室

TEL:072-978-3344

E-mail:kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

・筑波技術大学広報室

TEL:029-858-9311

E-mail:kouhou@ad.tsukuba-tech.ac.jp